

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 チューブ用クランプ 43223000

OSK プラスチックチューブ鉗子

【形状・構造及び原理等】

1. 形状：

代表的写真



2. 原材料：プラスチック

3. 原理：

先端部の2つの咬み合い部によって、把持、結合、圧迫又は支持する。ラチェット部が重なるとロックがかかり、重なる度合いが大きいほど、先端部の閉じる圧力は強くなる。

【使用目的又は効果】*

チューブを遮断するか、つまむための器具をいう。通常、検査室で使用するが、医療施設で使用する汎用のものもある。

【使用方法等】*

- 1) 使用前に、必要に応じて洗浄・消毒をする。
- 2) 滅菌が必要な場合は、134℃/5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
- 3) ハンドルを親指と中指等を用いて握ると、ラチェット部が重なるとともに先端が閉じる。
- 4) 開くときは、ハンドルを親指と中指等を用いて開く。

【使用上の注意】*

- 1) 一度閉じたラチェットを開くとき、構造上一度閉じる方向に戻した後開くこと。
- 2) 電気メスを用いた接触凝固は行わないこと（術者が感電・熱傷の危険又は危惧表面を損傷する可能性がある）。

【保管方法及び有効期間等】*

- 1) 清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管する。
- 2) 滅菌した状態で保管する場合、滅菌有効期限を管理する。

【取扱い上の注意】*

- 1) 器具を保護し、行動を滑らかにする保守油が塗布されているので、適切な油除去を行ってから滅菌処理を行うこと[油が付着したまま高圧蒸気滅菌を行うと、器具が変色する可能性がある]。

性がある]。

【保守・点検に係わる事項】

1. 洗浄・消毒
 - 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取り扱い方法を守る。中性洗剤を推奨する。
 - 2) 超音波洗浄器・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、可動部分は開放し、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
 - 3) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、危惧表面を損傷するので使用を避ける。
 - 4) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等を使用する。
 - 5) 洗浄液は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
 - 6) 滅菌が必要な場合は、134℃/5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
 - 7) 手術器具用潤滑剤の塗布を推奨する[可動部の防錆のため]。
2. 点検
滅菌前、使用前に汚れ・破損・変形・稼動部の動き等を点検する。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者：オガワ精機株式会社

電話番号：03-6908-5257

外国製造業者：DRAVON MEDICAL INC.（アメリカ合衆国）